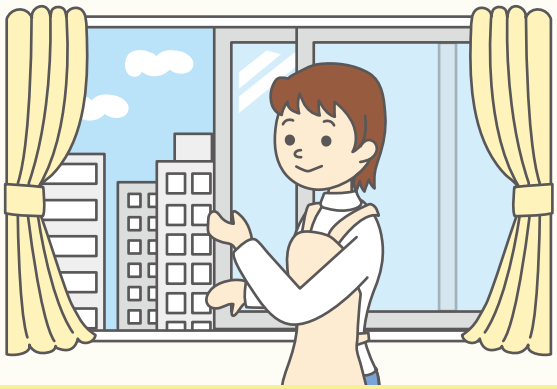
ガスの便利メモ

ガス・灯油

燃焼機器のご使用にあたっては必ず換気を行いましょう



換気は新型コロナ感染対策にも有効です

ガス機器をご使用の際は必ず換気を

換気が不十分だと新鮮な空気が不足し、不完全燃焼による一酸化炭素（CO）中毒を起こし、死亡事故につながることがあります。

ガス機器(コンロ、給湯器など)には安全装置が付いていますが、使用中は換気扇を回しましょう。

ただし、ガス臭いときには換気扇スイッチなど電気のスイッチに触れないでください。ON・OFFする際に、小さな火花が出ることがあり危険です。

1時間に1回以上の窓開け

不完全燃焼防止装置が付いている機器でも必ず換気をしましょう。

強制排気式の暖房機を使用しているお部屋でも、1時間に1回以上、1～2分窓を開け、空気を入れ替えましょう。

1989年以降の製品には不完全燃焼防止装置の搭載が義務付けられています。30年以上ご使用の機器は交換しましょう。

一酸化炭素中毒を防ぐ

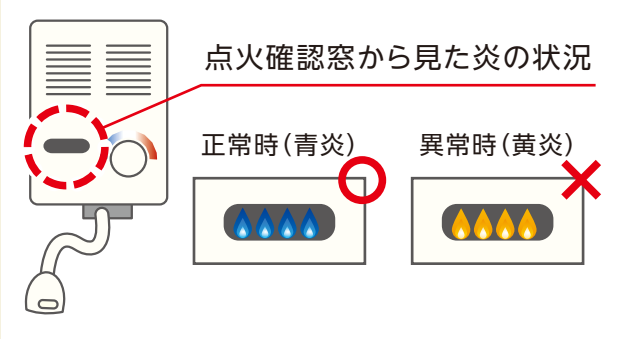
ガス機器や石油機器が正常な燃焼を行うためには十分な空気（酸素）が必要です。正しく使わないことで酸素が不足して不完全燃焼を起こすと、一酸化炭素（CO）という有毒なガスが発生します。一酸化炭素は色も臭いも無く、毒性が強い気体のため、ほんの少しでも吸い込んでしまうと気づかないうちに中毒になる危険があります。

一酸化炭素中毒の最初の症状は風邪に似ていて、なかなか気づきにくく、次第に頭痛、吐き気がしてきて、手足がしびれて動けなくなり、重症になると、人体に強い機能障害を起こしたり、意識不明になって死にいたることもあります。

ガス機器だけでなく、屋内や密閉空間での火気使用時は換気を忘れず、一酸化炭素中毒に十分ご注意ください。

不完全燃焼の見分け方

- ☐ 使用中に火が消える（過去に火が消えたことがある）
- ☐ ススが付着している
- ☐ 前面の塗装部が変色している
- ☐ 不快な臭いがする
- ☐ 炎の色が青くない（黄色い・赤い）
- ☐ 炎があふれる
- ☐ 機器が異常に過熱する
- ☐ 排気ファンが回っていない（強制排気式の場合）



このようなトラブルがみられる際は使用を直ちに中止して、当社にご連絡ください。

LPガスのことをもっと詳しく▶▶▶▶▶ LPガス検定 検索

20042101000